

市長面談議事録

日時 2022年6月27日 13時50分～14時20分

場所 市役所3階 市長面談室

出席者 行政 村田悠市長、秘書課長

千福が丘区自治会 橋本会長、杉山副会長、平林地域交流部長、小俣

[1] 目的

千福が丘区の現状の報告と、行政への依頼事項の説明。

市長は多忙中にも係わらず地元の自治会ということで、面談の運びとなった。

[2] 面談内容

(1) 自治会の現状について

自治会の内紛に関しては市長もよく知っておられた。特にコメントは控えるが早く正常になればと良いと言われた。

これに対して、橋本会長より最近の自治会の状況を簡単に説明。

- ① 管理組合は区分所有法を盾に自治会への参加を拒んでいるが、その根拠を問いただしても回答がない。
- ② 住民の意向は決定(自治会の成立)しているが、完全に無視している。
- ③ 自治会としては汚水処理施設のことも早く決着をつけたいと考えているなどと回答。

(2) 汚水処理施設について

区住民の願いである汚水処理施設の移管について改めてお願いをする。

市長は、よく理解している。市街化区域でもあり、いろいろ動き出しているので、良い結果が得られるようにしたいとのこと。

住民としては新しく市長も変わったことでもあるし、期待している。

これからも行政とよく連絡を取り合い進めていくことが重要との思いである。

(3) 高齢者対応

千福が丘も高齢者が増えており、区全体としてもいろいろ対応していかなければと話す。千福が丘には2500人が暮らしているが何も社会的な基盤となるインフラがない状態で厳しい。

いま対応策を検討中であると説明し

- ① 区独自のお互い様サービスの原案を市長に手渡し、理解を求めた。
- ② 又さわやか号を利用したコミュニティ運行も企画中で、出来るだけ早く実施したいと話す。

交通の不便さは高齢者が最も気にすることであり、区としても対応しなければならぬ課題である。

市長は多忙であり、一生懸命にその仕事に励んでいる様子で面談の後もすぐ他の業務が控えていたが、短時間であったが面談して頂いたのに感謝したい。

小俣 記

以上